

No.	科目 コード	授業科目	2017年度 科目担当者
1	4115	教育原理	柳井 郁子・曾野 麻紀・井上 真理子
2	5017	保育原理 I	神蔵 幸子・桃枝 智子・金 允貞
3	4323	保育者論	柳井 郁子・桃枝 智子・金 允貞
4	4137	教育心理学	坪井 葉子・山本 有紀・岡本 かおり
5	4148	発達心理学 I	坪井 葉子・山本 有紀
6	4728	子どもの保健1	堀 純子
7	4731	子どもの保健(演習)	堀 純子・向笠 京子
8	4729	子どもの保健2	向笠 京子・酒井 喜美子
9	5032	子どもの食と栄養	齋藤 優子・伊藤 みどり
10	5055	乳児保育	金 允貞・松田 笑美子
11	4851	障害児保育 I	下尾 直子・小野寺 知子・大多和 亮介
12	4786	障害児保育 II	下尾 直子・金 允貞・大多和 亮介
13	4214	保育内容・健康	神蔵 幸子・桃枝 智子・宇佐美 かおる
14	4224	保育内容・人間関係	神蔵 幸子・桃枝 智子・高橋 節子
15	4234	保育内容・環境	並木 真理子・曾野 麻紀
16	4271	保育内容・言葉	並木 真理子・曾野 麻紀・井上 真理子
17	4272	保育内容・総論	神蔵 幸子・並木 真理子・曾野 麻紀
18	4186	教育課程論	並木 真理子・長島 万里子・杉本 真由美
19	4156	カウンセリング論	坪井 葉子・山本 有紀・宮川 千春
20	4350	保育・教職実践演習(幼稚園)	坪井 葉子・岡本 かおり・長島 万里子
21	4795	社会福祉	加藤 洋子・下尾 直子・古西 真由美
22	4766	児童家庭福祉	加藤 洋子・板倉 香子・古西 真由美・蠣崎 尚美
23	5057	家庭支援論	加藤 洋子・飯塚 美穂子・柴崎 祐美
24	4797	相談援助	板倉 香子・飯塚 美穂子・浦野 耕司
25	5082	保育相談支援	板倉 香子・飯塚 美穂子・浦野 耕司
26	5025	社会的養護	加藤 洋子・飯塚 美穂子・板倉 香子・泉 さわこ
27	5081	社会的養護内容	下尾 直子・宮川 千春・泉 さわこ
28	4521	造形表現 I	黒須 和清
29	4269	保育内容・造形的表現	大貫 真寿美・小野 さおり
30	4453	幼児音楽 I	秋山 徹・麻野 恵子・飯田 千夏・神谷 明美・野坂 順子・諸井 サチヨ
31	4454	幼児音楽 II	秋山 徹・麻野 恵子・飯田 千夏・神谷 明美・野坂 順子
32	4432	ピアノ I	柴田 美奈 他
33	4436	ピアノ II	柴田 美奈 他
34	4916	合唱1	藤原 規生 <伴奏>柴田 美奈・佐藤 全子
35	4772	基礎表現	和氣 瑞江・荒木 文子・クリス チャベス・大倉 マヤ・山下 順子
36	4773	総合表現(ぐりとぐら)	山下 順子・秋山 徹・古田 賢司
37	4924	演技実習	篠原 真・クリス チャベス・南 智子
38	4620	体育(乳幼児体育を含む)	石濱 加奈子
39	4821	国語	岡本 かおり・柳井 郁子・長島 万里子
40	4351	教育実習指導 I(教育実習 I・事前事後の指導を含む)	井上 真理子・岡本 かおり・山本 有紀・長島 万里子・向笠 京子
41	4352	教育実習指導 II(教育実習 II・事前事後の指導を含む)	井上 真理子・岡本 かおり・山本 有紀・長島 万里子・向笠 京子
42	4353	教育実習指導 III(教育実習 III・事前事後の指導を含む)	井上 真理子・並木 真理子・柳井 郁子・桃枝 智子
43	5061	保育所実習 I	井上 真理子・岡本 かおり・山本 有紀・長島 万里子・向笠 京子
44	5068	保育実習指導 I(保育所)	井上 真理子・岡本 かおり・山本 有紀・長島 万里子・向笠 京子
45	5062	保育所実習 II	井上 真理子・並木 真理子・柳井 郁子・桃枝 智子
46	5069	保育実習指導 II(保育所)	井上 真理子・並木 真理子・柳井 郁子・桃枝 智子
47	5071	児童福祉施設実習 I	板倉 香子・加藤 洋子・下尾 直子・飯塚 美穂子
48	5073	保育実習指導 I(施設)	板倉 香子・加藤 洋子・下尾 直子・飯塚 美穂子
49	0386	情報機器の操作	相馬 健太・林 洋子
50	2121	英語(外国語コミュニケーション)	落合 俊文・山口 律子・伊藤 満里
51	3123	健康・スポーツ	吉田 千秋・藤元 直美
52	3125	保健体育	堀 純子・向笠 京子・福田 佳奈子
53	0216	法学(日本国憲法)	荒邦 啓介・小堀 裕子・上岡 敦・西山 智之
54	0267	ビジネス講座(秘書検定対策)	喜多 朋子
55	0410	ウインド・バンド1	古田 賢司・石井 喜久子
56	0411	ウインド・バンド2	古田 賢司・石井 喜久子
57	0412	ミュージカル	篠原 真・黒須 和清・横山 仁一・瀧本 瞳・大倉 マヤ・クリス チャベス・星野 苗緒
58	0414	パイプオルガン1	荻野 由美子・川越 聡子
59	0415	パイプオルガン2	荻野 由美子・川越 聡子

科目名	教育原理 1A	授業コード	YK4115A0	科目コード	YK4115
担当教員	柳井 郁子・曾野 麻紀・井上 真理子				
授業形態	講義	配当学年	1	期間	半期
単位数	2	科目分類	専門必修	幼稚園教諭	必修
				保育士資格	必修

### 1. 主題・到達目標

教育とは何か、学校とは、そして学ぶとはどういうことを考える。また、教育学は何を課題としてきたかについても学ぶ。授業では教育と教育学についてその概念・思想・歴史について理解することをねらいとする。そのうえで、保育者として教育とどのようにかかわっていくかを考える力を培うことを目標とする。

### 2. 授業概要

基本的に講義形式だが、教育実践例の検討等については議論の機会を設ける予定である。学校や保育の現場における授業実践、及び家庭や地域社会における教育の方法・内容・制度についても取り上げ、さまざまな教育の場における現代的課題について考える。

### 3. 授業時間外の学習（予習復習について）

広範な学習内容になる。教育関係の図書資料をできるだけ多く読み、新聞やテレビ等、毎日の報道からも材料を得て、意欲的に学習を発展すること。また、授業で紹介する参考図書については、できるだけ多く読むこと。毎回の授業後の復習として、テキストの該当箇所を熟読し理解すること。

### 4. 成績評価の方法及び基準

平常点<授業内の課題・レポート・授業への参加姿勢等>（評価の50%）  
筆記試験による内容の理解度（評価の50%）

### 5. 授業で使用するテキスト・参考文献

テキスト:

『やさしい教育原理』田嶋一・中野新之祐・福田須美子・狩野浩二著（有斐閣）2016年

参考文献:

『幼稚園教育要領解説』文部科学省（フレーベル館）

『保育所保育指針解説書』厚生労働省（フレーベル館）

『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文部科学省・厚生労働省（フレーベル館）

### 6. 履修の条件・クラス分けの方法（履修者への要望等）

毎時間の授業の要点や関連学習等を記録したノートを作成し、配布プリントを整理保存すること。随時学生からの発言を求めらるので、積極的な参加を期待する。

授業計画	
	【前期】
1	ガイダンス（授業のねらい、進め方及び授業の受け方についての説明）
2	教育とは何か
3	学校とは何か
4	子どもとは何か
5	教育の歴史①近代公教育制度の成立
6	教育の歴史②戦後の学校教育
7	子育て・子ども観の歴史の変容
8	子どもの権利
9	教育の思想①近代
10	教育の思想②現代
11	教育実践の可能性①保育の実践例を考察する
12	教育実践の可能性②学校教育の実践例を考察する
13	これからの教育と私たちの課題
14	まとめ①＜全授業内容のまとめと復習＞
15	まとめ②＜確認テストー全授業内容の総復習ー＞

科目名	保育原理 I 1A	授業コード	YK5017A0	科目コード	YK5017
担当教員	神蔵 幸子・桃枝 智子・金 允貞				
授業形態	講義	配当学年	1	期間	半期
単位数	2	科目分類	専門必修	幼稚園教諭	必修
				保育士資格	必修

### 1. 主題・到達目標

#### <主題>

保育者となるための基本的な考え方を総合的に学習する。保育に関する制度や理論を学ぶとともに、あたたかな人間理解に基づき子どもを育むということについて自覚を高めることを目指す。

#### <到達目標>

- ①保育における子ども理解の重要性について学ぶ。
- ②様々な保育の場を支える法規と制度について学ぶ。
- ③保育の思想と歴史を学ぶとともに、保育の現状と課題を理解する。
- ④保育者に求められる在り方について考える。

### 2. 授業概要

- ・現代の保育の考え方や方法がどのような根拠を持っているのか様々な視点から探求する。
- ・幼児教育・保育の意義および基本、目標、方法、内容、特性について「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」をもとに解説する。
- ・幼稚園、保育所等の映像や資料を通し子ども理解を深め、保育者に求められる在り方について話し合う。
- ・図書館の利用方法を理解し、保育に関する文献検索の体験を行う。

### 3. 授業時間外の学習（予習復習について）

保育についての考え方や方法は多種多様であり、また、子どもの発達についての学問的見解も日進月歩である。それらの研究成果を学びながら、そこにとどまることなく、学んだ知識が真に意味を持って実際の保育に生かせるように、新聞等の報道にも関心を持って生活して欲しい。また、授業内で紹介される文献を図書館で借りて読むなどの復習は大変有効である。

### 4. 成績評価の方法及び基準

筆記試験による内容の理解度（評価の50%）  
 平常点<課題提出・授業内の小テスト>（評価の25%）  
 授業への参加態度（評価の25%）

### 5. 授業で使用するテキスト・参考文献

- ①『保育原理』神蔵幸子・宮川萬寿美・中川秋美（編）（青踏社）
- ②『幼稚園教育要領解説』文部科学省（フレーベル館）
- ③『保育所保育指針解説書』厚生労働省（フレーベル館）
- ④『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文部科学省・厚生労働省（フレーベル館）

### 6. 履修の条件・クラス分けの方法（履修者への要望等）

授業や課題に積極的に取り組むこと。

授業計画	
	【前期】
1	ガイダンス：授業内容全体の説明 保育を学ぶということ 「私の絵本リスト」の作成について
2	保育の基本・子ども理解 ・予習：自分が持つ子どものイメージについて考える ・復習：子どもの姿を観察する
3	子ども観・保育観 西欧と日本の保育思想 ・予習：「保育」という言葉の語源、歴史について調べる ・復習：興味をもった保育思想家・保育実践家について調べる
4	保育の場を支える法規 児童憲章・学校教育法・児童福祉法 ・予習：児童憲章について調べる
5	保育の場と制度：保育所・幼稚園・認定こども園 ・予習：自分が住んでいる地域の保育制度について調べる
6	幼稚園・保育所・認定こども園の目的 ・復習：幼稚園・保育所・認定こども園の目的について整理する
7	幼稚園・保育所・認定こども園の保育の基本と目標 ・復習：幼稚園・保育所・認定こども園の保育の基本と目標について整理する
8	保育の内容 領域の変遷・領域の考え方
9	保育のねらい 遊びを通した総合的な指導
10	保育の計画 全体的な計画と指導計画のつながり
11	子どもの育ち・学びの連続性 「幼児教育」と「小学校教育」の違いとつながり
12	保育の現状と課題 ・予習：子どもや育児、保育に関する新聞記事を読む
13	子育て・家庭支援 ・予習：園で行われている支援の具体的な内容を調べる
14	保育者の在り方 ・予習：テキスト第11章「保育者の在り方」を読む ・復習：保育者を目指す現在の「私」自身の在り方について見つめ直す
15	全授業内容のまとめ・解説

科目名	保育者論 1A	授業コード	YK4323A0	科目コード	YK4323		
担当教員	柳井 郁子・桃枝 智子・金 允貞						
授業形態	講義	配当学年	カリキュラムにより異なります。		期間	半期	
単位数	2	科目分類	専門選択	幼稚園教諭	必修	保育士資格	必修

### 1. 主題・到達目標

保育者の仕事は、子どもの気持ちや発達を理解し、子どもの育ちを援助する仕事である。保育者を志す学生として「保育者になる」とはどのようなことか、保育者とはどのような職業であるか、保育者に求められる専門性とは何かを理解することを目標とする。さらに、保育者としての役割を担うために必要な資質・考え方・学びとは何かを理解することを目指す。

### 2. 授業概要

「保育者の役割」「保育者の仕事」「保育者の専門性」「保育者の協働」「保育者の成長」について、事例を多く取り上げながら学ぶ。そのうえで、「保育者になる」とはどういうことかを、実際の保育場面と関連づけながら考察していく。

### 3. 授業時間外の学習（予習復習について）

毎回の授業後の復習として、テキストの該当箇所を熟読し、理解しておくこと。また、授業でとりあげた事例や資料についてもふり返り、理解を深めること。

### 4. 成績評価の方法及び基準

筆記試験による内容の理解度（評価の50%）  
平常点＜課題、授業への参加姿勢等＞（評価の50%）

### 5. 授業で使用するテキスト・参考文献

『保育者論』 汐見稔幸・大豆生田啓友編（ミネルヴァ書房）2010年  
『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館）  
『保育所保育指針解説書』 厚生労働省（フレーベル館）  
『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省（フレーベル館）

### 6. 履修の条件・クラス分けの方法（履修者への要望等）

毎時間の授業の要点や関連学習等を記録したノートを作成し、配布プリントを整理保存すること。

授業計画	
	【後期】
1	ガイダンス（授業の受け方、「保育者になる」ということ）
2	保育者とは（幼稚園教諭免許と保育士資格、魅力的な保育者とは）
3	保育者の一日
4	保育者の仕事① - 子どもの思いや育ちを理解する
5	保育者の仕事② - 子どもと一緒に心と体を動かす
6	保育者の仕事③ - 文化や自然との出会いをつなぐ
7	保育者の仕事④ - 家庭への支援
8	保育における援助のあり方①保育における援助の意味
9	保育における援助のあり方②事例の考察
10	保育者の専門性①保育者の専門性とは何か
11	保育者の専門性②事例の考察
12	保育者にとっての学び
13	保育者の協働
14	まとめ①<全授業内容のまとめと復習>
15	まとめ②<確認テストおよび解説>

科目名	教育心理学 1A	授業コード	YK4137A0	科目コード	YK4137
担当教員	坪井 葉子・山本 有紀・岡本 かおり				
授業形態	講義	配当学年	1	期間	半期
単位数	2	科目分類	専門選択	幼稚園教諭	必修
				保育士資格	必修

### 1. 主題・到達目標

本講義では、保育実践と子どもの発達に関わる心理学の知識を習得し、乳幼児期を中心に子どもへの理解を深める。また、子どもが他者との相互的にかかわりを通して発達をしていくことや、生涯発達の観点から、発達の過程や初期経験の重要性を理解し、保育現場で適切な働きかけができる力の基礎を養うことを目標とする。

### 2. 授業概要

保育と心理学のつながり、身体・運動、知覚・認知、言語、社会性などの領域の子どもの発達、他者との相互的なかかわりでの基本的信頼感の獲得、社会的相互作用、生涯発達と初期経験の重要性といった保育実践に関わる心理学の基礎知識を身につける。

### 3. 授業時間外の学習（予習復習について）

テキストを読んで復習し、次の講義に臨むこと。詳細は授業時に担当教員より指示する。

### 4. 成績評価の方法及び基準

筆記試験による内容の理解度もしくはレポート内容の充実度（評価の50%）  
平常点＜授業内の提出物および授業への参加姿勢＞（評価の50%）

### 5. 授業で使用するテキスト・参考文献

テキスト：  
『教育心理学 保育者をめざす人へ』 樹村房 2004年

授業内で、適宜資料を配布する。  
尚、テキストは、後期開講科目「発達心理学Ⅰ」でも適宜使用する。

### 6. 履修の条件・クラス分けの方法（履修者への要望等）

将来、保育者や養育者となったとき、大人の関わりが子どもに大きく影響を及ぼすことを意識し、主体的に講義に臨むこと。































































































































































































































































































